

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	企業組合労協センター事業団	代表者	藤田 徹	法人・事業所の特徴	利用者との協同・地域との協同・働く者同士の協同を大切にし、地域に必要とされ支えられる事業をめざす。地域の食育ステーション・いざという時の防災拠点になるようにします。
事業所名	玉ノ井プラザ・あゆみの舎	管理者	藤田 正利		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	1人	2人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・業務連絡ノートの記入者がケアマネジャーと管理者に偏っているため、他の職員も積極的に記入にサービス計画に反映できるようにすべき。 ・各種マニュアルが作成されているが、見直し・再検討が行われていないので現状に合わなくなっている可能性がある。見直しをすべきである。	・業務連絡ノートが全職員で活用し、定着してきている。 ・見直しが徐々にではあるが進んでいる。	なし	別紙の9項目の改善を行う
B. 事業所のしつらえ・環境	なし	なし	居心地がいい空間かどうかは長時間居たことが無いのでよくわからない	気軽に見学できる見学会を開催します
C. 事業所と地域のかかわり	なし	なし	事業所は地域に知られ始めて来ているが、まだまだのようだ。 新しく住みはじめた人達いるが、町会でも把握できていない。「みまわり隊」みたいな活動が必要ではないか。	みまわり隊のような活動を開始します
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	なし	なし	過去にご近所の心配な方にかかわったことがあるが、ここ一年は無いようだ。 地域の住民の状況把握が必要ではないか	上記の活動などを通じて地域状況の把握をします
E. 運営推進会議を活かした取組み	なし	なし	過去にご近所の心配な方等の事例検討を行ったことがあるが、継続的な活動が必要ではないか。	会議で必ず1事例検討することになります
F. 事業所の防災・災害対策	なし	なし	防災計画・防災訓練計画が利用者・地域住民に十分に知らされていないのではないか	防災計画・訓練についてお知らせ・報告を書面で行います。